

# 日刊 勤労千葉

84. 6. 6

No. 1658

### 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二・二二七二・〇七

# 三塚 関西西軍事空港建設阻止 6.3(衛)泉佐野で全国総決起集会



5キロ沖合の空港建設予定地を臨む砂浜で2600名の大集会。

六月三日、大阪・泉佐野市において「関西新空港反対全国総決起集会」が開かれました。

関西新空港は、二四時間使用の海上空港であり大阪湾沿岸住民の生活と環境を破壊するばかりか、三塚と並ぶ西の軍事空港として軍事大国化へ道を開くものです。中曾根は来年着工にむけ「特殊会社」法案の国会成立をねらっており、集会は緊迫した状況のもとで全国から各団体、労働者ら二六〇〇名が結集し、断固たる戦闘宣言を発しました。勤労千葉は、青年部を中心に二四名が参加し、ともに最後まで闘いぬきました。

## 全国から二六〇〇名が参加

集会は、権力、市当局の憲法さえ否定する「市民会館使用不許可」「過激派キャンペーン」の大弾圧を打ち破る大結集をもちと、五キロ沖合の新空港予定地を臨む砂浜で開催されました。主催者の大阪湾岸住民、関西実行委員会を代表して山本善偉氏、森田恒一氏の力強い開会宣言につづいて、永井満氏より基調報告をうけました。永井氏は「特殊会社法案が衆院から参院へおくれ、十月会社設立、来年度着工がいわれているいま、予定地の真前で集会を開く意味は大きい。権力・行政の不当なやり方は、逆に多くの住民の激励がわれわれに寄せられている。新空港は完全な軍事空港であり、シーレーン防衛の拠点であることは明らかだ。平和と自由を守るため全力で決起していく」と述べました。

つづいて、万雷の拍手を浴びて三塚からかけた反対同盟農民が壇上に並びました。北原事務局長は、関西における権力の異常な弾圧体制を弾劾し、実力で打ち破る闘いの正当性を主張するとともに、トマホーク配備は戦争への準備であり安保の下では平和空港は存在しないこと、従って戦争への道を阻止し平和をかちとるために弾圧をはねのけて闘おうと訴え、代執行に流血を辞さず闘う決意を表明しました。また、小川嘉吉さんをはじめ六名の農民からも「三塚と関西空港建設を粉碎し、ともに勝利しよう」との決意が述べられました。

水野副委員長、田中青年部長が力強い連帯のあいさつ

「会場使用不許可」など異常・不当な権力の弾圧をけって、泉佐野市を力強くデモ行進。



連帯のあいさつのはじめに、勤労千葉を代表してたつた水野副委員長は「中曾根の反動攻撃は日本列島不沈空母の甲板づくりであり、これに黙する者は共犯者だ。今こそ労働者が決起しなければならぬ。にもかかわらず労働運動のぶざまな状況を反省する指導者がいない。これが敵のカサにかかった攻撃を許す結果ともなっているのだ。中曾根の全面的攻撃を三塚と関西新空港反対の闘いを基軸に打ち破ろう」とあいさつしました。田中青年部長は「三塚と関西の闘いは絶対勝利できる。われわれは実力で闘えば勝てることを三塚で学んだ。10・10には3・25を倍する結果をかちとろう」と決意表明しました。

集会は北富士忍草母の会をはじめ、全国の多くの団体から連帯のあいさつをうけた後、関西の各戦線代表、住民代表から熱烈で感動的な決意表明をうけました。部落解放同盟荒本支部の瀬川支部長、辻岡豊氏、関西大学の田宮教授、そして地元住民を代表して中学の女性教師は「今日は機動隊の姿を見て行かなあかんと思ってきました。空港がおかしいと考えることは間違っています。三塚のみならずはがらばつています。止めるのは今です。つくるうと決める前にやめさせよう。みんなが集まって市役所に座りこんでいやといおう」と、集会を見守る多くの市民に呼びかけました。集会宣言を圧倒的拍手で確認した後、直ちにデモに出発し、権力の弾圧体制をはねのけ、泉佐野駅前での市民との大合流を実現しました。集会は関西新空港粉碎にむけた勝利の展望を切り拓き、大成功をかちとりました。